

本願寺沖繩別院並びに有縁の皆さまには、別院の護持発展に各段のご協力を賜っており、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

12月(師走)に入り今年も残すところあと僅かとなりましたがいかがお過ごしですか。そして、皆さまにとって今年はどうな一年だったでしょうか。一年を振り返ると、嬉しかったことや楽しかったこと、辛かったことや悲しかったこと、

たことなど、様々な出来事がありました。特に激動する現代社会の影響によって一変した社会生活。また、世界では様々な理由によって各地で紛争が起こり、多くの尊いいのちが犠牲となっています。

私たちは、今、この世の中をどのようにして暮らしていけばよいのでしょうか。

京都の西本願寺では、今年の3

年末の挨拶



本願寺沖繩別院輪番 中岡順忍

うちな

浄土真宗本願寺派
発行 本願寺沖繩別院 (浦添本願寺)
発行人 中岡順忍
〒901-2132
沖縄県浦添市伊祖5-10-1
電話 (098) 877-3276
ファックス (098) 877-4242
mail ameku2182@yahoo.co.jp

月29日～5月21日まで5期30日にわたり「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」が修行され、約7万人のご参拝がありました。ご門主様は法要の最終日に「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要御満座の消息」を發布され、「私たちは阿彌陀如来の智慧の光明に包まれ、照らし出されることによって、今まで気づかなかつた罪業深重・煩惱具足という自身の姿とともに、如来の広大な恩徳を知らされます。そして、このような私たちが、如来に慈しまれていると同時に私の悲しみを如来の悲しみとして受け入れていただけることを信知すること、自身の悪業煩惱を心から慚愧し、少しでも執われの心を離れなければならぬと気づかされます。それは自分だけの安穩を願うような自己中心的な生き方から、人々

の苦悩をともしにしていく生き方への転換であり、そこから大智大悲という如来のお徳を真実と仰ぎ、それに浴うよう努める念仏者の生き方が開かれてきます。そして、その努め励んでいくまが如来のお徳に促され、ご本願に生かされて生きる姿になるのです」とお示しく下さいました。

このような時代だからこそ、仏さまの願いに気づかせていただき、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に向けて精一杯務めたいと思います。 合掌

来年の12月1日には、沖繩別院において「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」を修行いたします。浄土真宗のみ教えを説き示してくださいました親鸞聖人のご誕生をお祝いし、立教開宗に感謝する法要です。ぜひご参拝ください。

秋季彼岸会 秋の永代経法要

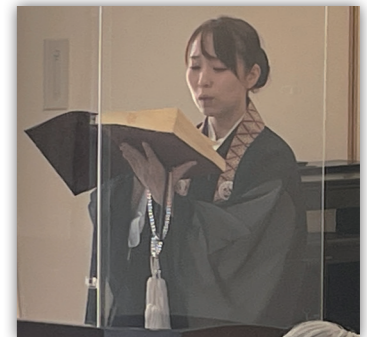


秋季彼岸会・秋の永代経の様子

沖繩別院では9月23日(土)に秋季彼岸会・秋の永代経法要を修行し、ご講師に石川教区江南組本光寺衆徒の八幡真衣師をお招きしました。

ご講師は福井県・石川県を中心にテンプル食堂(子ども食堂)という食事支援活動や、他にも全国沖繩県内では読谷村の真常寺を会場に、昨年8月から毎月一回、テンプル食堂を開催されています。子どもたちを中心に、保護者や高齢者など、近隣の方々も多く参加されており、地域一丸となった子どもたちの居場所づくりを目指し、取り組まれています。

秋季彼岸会・秋の永代経法要には多くの方が参拝され、皆さんはご講師の法話に耳を傾けられました。八幡師は、「阿彌陀さまは、私を一人にはしない、私を救いた」とはたらきかけてくださいます。



ご法話、そして御文章を拝読される八幡師

浄土真宗は私がこの身このままで救われる教えです」と話されました。沖繩別院では毎年春秋の彼岸に合わせて「彼岸会・永代経法要」を修行しています。皆さん、ぜひご参拝ください。



11月12日(日)に光原智聡ちゃん(福井教区敦賀組即願寺)が沖繩別院で初参式を受けられました。初参式とは、赤ちゃんが仏の子として育ち、これからの人生を仏さまのお慈悲に包まれて生きていけるよう、人生の出発にあたり、その誕生を仏さまにご報告する式です。

9月14日(木)に山口教区自照会の皆さんが、11月15日(水)には第5連区ビハーラ熊本の皆さんが沖繩別院に参拝されました。沖繩別院では、今後も皆さんのご参拝をお待ちしております。



第5連区ビハーラ熊本の皆さん



山口教区自照会の皆さん



沖縄特区 慶讃法要

12月1日(金) 午後1時30分からAIM・ユニバースでだこホール(小ホール)において沖縄県宗務特別区「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要・沖縄開教事務所設置50周年記念法要」を修行しました。

この法要は、宗祖親鸞聖人が誕生して850年、浄土真宗が開かれて800年、そして沖縄に開教事務所が設置されて50年となることを記念して、スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに、サブタイトルを「伝える、つなぐ、命どう宝」(「命どう宝」は、「命こそ宝」の意)として行われました。中岡順忍法要事務所長の挨拶で始まり、岩尾秀紀師(特命布教

使・宮崎教区高千穂組浄光寺住職)の記念布教、慶讃法要と続きます。中岡所長が導師を務め、菊城元明法要委員長(真常寺)、高木正敏推進会議委員長(八重山本願寺布教所)、森井正則住職(西然寺)、田川秀平住職(平安寺)、宇垣満住職(浄光寺)、大工廻朝洋副住職(城徳寺)が結衆として出勤されました。結衆は、法要に向けて毎月一回の勤式練習会で習礼を重ね、出仕いただきました。勤式練習会で指導員(誓願寺)は会係として法要を取りまとめてくださいました。また、鹿児島教区雅友会有志の皆さまに雅楽を演奏いただきました。慶讃法要にあたっては事前に何

度も会議を重ね、沖縄特区内の寺院法中と関係者の皆さんに、誘導や受付などスタッフをお願いしました。記念講演には釋徹宗師(相愛大学学長)にご講演いただきました。最後に菊城法要委員長の挨拶をもって閉会となりました。全国から多くの方々のご参拝され、「いい法要でした」「釋先生の講話が聞きやすかったです」などの声がありました。



習礼をかさねて出仕された法中の皆さん



受付担当の特区内寺院・関係者の方々 「てだこホール」入口には仏旗があがった

来年2024(令和6)年12月1日(日)には沖縄別院を会場に、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要・沖縄別院設置50周年記念法要」を修行いたします。皆さまのお参りをお待ちしております。



法要の様子。導師の中岡所長を中心に、結衆は右から順に、宇垣さん、森井さん、高木さん、菊城さん、田川さん、大工廻さん。奏楽員は鹿児島教区雅友会有志の皆さん。ホールには有縁の多くの方々が参られた



記念講演で「柔らかかな心」と題してお話しされる釋徹宗師



閉会の挨拶をされる菊城法要委員長